令和2年度当初予算　予算要求シート

事業区分：　重点　　マスタープラン：　3つの挑戦　低炭素　／　施策番号　5-1　・　・　・　　局・課名：　建設局・土木監理課

事業名	道路照明灯LED更新事業

事業費（千円）	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
	11,228	46,350	189,650

債務負担行為	期間	要求額（千円）
	R　～　R	

事業概要

【目的】

交通安全施設である道路照明灯のLED化を実施することにより、通行の安全確保の役割に加えて、ランニングコストを抑えることにより維持管理経費の縮減を図る。また、消費電力が少なく、CO2の排出量削減による低炭素化・省エネルギー化の実現に貢献する。

【内容】

幹線道路照明灯約6,300灯を対象に、平成29年度より4ヶ年で、既存の道路照明灯（水銀灯やナトリウム灯）と比べ、消費電力が小さく製品寿命が長いという特性があるLED灯に10年間のリース方式で更新を実施。
（R2年度　西部管内　幹線道路　約1,500灯導入予定）
また、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業（以後、「3か年緊急対策事業」という。）」として、緊急交通路のLED化工事も推進している。
（R2年度　北部管内　中百舌鳥地下道他）

【今年度要求のポイント】

北部・南部管内分(H29・30年度導入済）及び西部管内分（R1年度作業中）に引き続き西部管内分の幹線道路照明灯約1,500灯について、リース方式で導入を実施し、電気代の削減、環境負荷の軽減、初期導入費用の平準化など効果を得る予定である。
また、3か年緊急対策事業として、緊急交通路のLED化工事も推進する。

主な要求内容　（単位：千円）

項目	R1年度予算	R2年度要求額	内容・積算等
賃貸借費	24,350	27,650	過年度リース分（4748灯）及びR2年度新規約1500灯
委託費	4,000	2,000	新規LED賃貸借契約に伴う既存灯具の産業廃棄物処理業務
工事費	18,000	160,000	緊急交通路LED化工事（中百舌鳥地下道他）
合計	46,350	189,650	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～元年度）】
・H29～R1北部、南部、西部（一部）管内幹線道路について、リース方式でLED化を実施
・緊急交通路LED化工事及び設計

【2年度】
・R2年度　西部管内幹線道路(その2)について、リース方式でLED化を実施。
・生活道路の道路照明灯のLED化導入方法の検討
・緊急交通路LED化工事（地下道等）

【今後予定（3年度～）】
・生活道路の道路照明灯のLED化を順次実施

その他　特記事項

関連事業：
・2020年度には水銀灯の製造・輸入等が停止する。低炭素化・省エネルギー化の推進と併せ、平準化して順次LED灯具への更新を行う必要がある。

整理番号　：　19　－　2　－　0050